

事業報告書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月 31日

1 会務の運営

本法人の円滑な運営を図るため、次の会議を開催した。

(1) 正副会長会議並びに支部長会議

① 令和4年第1回正副会長並びに支部長会議開催

日時 令和4年10月5日（水）午後1時30分

場所 蕨市総合社会福祉センター 3階多目的ホール

議事

ア 第42回蕨市社会福祉大会、第30回ふれあい広場について

② 令和5年第1回正副会長並びに支部長会議開催

日時 令和5年3月8日（水）午後3時00分

場所 蕨市総合社会福祉センター 3階多目的ホール

議事

ア 第43回蕨市社会福祉大会、第31回ふれあい広場について

イ 社協会員への還元方法について

(2) 理事会

① 令和4年第2回理事会開催

日時 令和4年5月31日（火）午前10時00分

場所 蕨市総合社会福祉センター 3階多目的ホール

種別 通常理事会

議事

ア 報告第4号 専決処分の承認を求めることについて

令和3年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会会計補正予算（第2号）について

イ 報告第5号 専決処分の承認を求めることについて

福祉資金貸付金徴収不能額の欠損処分について

ウ 報告第6号 専決処分の承認を求めることについて

蕨市第一地域包括支援センター（指定介護予防

支援事業所) 事業運営規程の一部を改正する規程

- エ 報告第 7 号 専決処分の承認を求めることについて
社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
軽費老人ホームケアハウス松原管理規程の一部
を改正する規程
- オ 報告第 8 号 専決処分の承認を求めることについて
社会福祉法人蕨市社会福祉協議会ドリーマ松原
地域活動支援センター事業運営規程の一部を改
正する規程
- カ 報告第 9 号 専決処分の承認を求めることについて
社会福祉法人蕨市社会福祉協議会蕨市多機能型
事業所スマイラ松原事業運営規程の一部を改正
する規程
- キ 報告第 10 号 会長及び常務理事の職務執行状況の報告につい
て
- ク 認定第 1 号 令和 3 年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
事業報告認定について
- ケ 認定第 2 号 令和 3 年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会会
計決算認定について
- コ 議案第 17 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
評議員選任候補者の推薦について
- サ 議案第 18 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
評議員選任・解任委員会の招集について
- シ 議案第 19 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
評議員会の招集について

② 令和 5 年第 1 回理事会開催

日 時 令和 5 年 3 月 14 日 (火) 午前 10 時 00 分

場 所 蕨市総合社会福祉センター 3 階多目的ホール

種 別 通常 of 理事会

議 事

- ア 報告第 1 号 専決処分の承認を求めることについて
社会福祉法人蕨市社会福祉協議会

- 職員給与規程の一部を改正する規程
- イ 報告第 2 号 専決処分の承認を求めることについて
社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
蕨指定居宅支援事業運営規程の一部を改正する
規程
- ウ 報告第 3 号 専決処分の承認を求めることについて
社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
蕨指定訪問介護事業所運営規程の一部を改正す
る規程
- エ 報告第 4 号 専決処分の承認を求めることについて
社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
蕨指定居宅介護支援事業運営規程の一部を改正
する規程
- オ 報告第 5 号 専決処分の承認を求めることについて
社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
蕨訪問看護事業並びに指定介護予防訪問看護事
業運営規程の一部を改正する規程
- カ 報告第 6 号 専決処分の承認を求めることについて
社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
職員給与規程の一部を改正する規程
- キ 報告第 7 号 令和 4 年度社会福祉施設等指導監査の結果につ
いて
- ク 報告第 8 号 会長及び常務理事の職務執行状況の報告につい
て
- ケ 議案第 1 号 しらうめ福祉基金積立資産の積立について
- コ 議案第 2 号 令和 4 年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
会計補正予算（第 1 号）について
- サ 議案第 3 号 令和 5 年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
事業計画について
- シ 議案第 4 号 令和 5 年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
会計収支予算について

- ス 議案第 5 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
個人情報保護規程の全部を改正する規程
- セ 議案第 6 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
コンピュータ情報システムの運用管理に関する
規程の一部を改正する規程
- ソ 議案第 7 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
育児休業等に関する規程の全部を改正する規程
- タ 議案第 8 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
職員就業規則の一部を改正する規則
- チ 議案第 9 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
非常勤職員就業規則の一部を改正する規則
- ツ 議案第 10 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
ドリーマ松原地域活動支援センター事業運営規
程の一部を改正する規程
- テ 議案第 11 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
蕨市多機能型事業所スマイラ松原事業運営規程
の一部を改正する規程
- ト 議案第 12 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
蕨市多機能型事業所スマイラ松原日中一時支援
事業運営規程の一部を改正する規程
- ナ 議案第 13 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
蕨市多機能型事業所スマイラ松原夜間保護事業
運営規程の一部を改正する規程
- ニ 議案第 14 号 蕨市公益的法人等への職員の派遣等に関する条
例に基づく取決め書の締結について
- ヌ 議案第 15 号 役員等賠償責任保険契約の締結について
- ネ 議案第 16 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
評議員選任候補者の推薦について
- ノ 議案第 17 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
評議員選任・解任委員会の招集について
- ハ 議案第 18 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会評議員会の招

集について

ヒ 議案第19号 施設長等の選任及び解任について

(3) 評議員会

① 令和4年第2回評議員会開催

日時 令和4年6月17日（金）午前10時00分

場所 蕨市総合社会福祉センター 3階多目的ホール

種別 定時評議員会

議事

ア 報告第2号 専決処分の承認を求めることについて

令和3年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会会計補正予算（第2号）について

イ 認定第1号 令和3年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会事業報告認定について

ウ 認定第2号 令和3年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会会計決算認定について

② 令和5年第1回評議員会開催

日時 令和5年3月23日（木）午前10時00分

場所 蕨市総合社会福祉センター 3階多目的ホール

種別 臨時評議員会

議事

ア 議案第1号 令和4年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会会計補正予算（第1号）について

イ 議案第2号 令和5年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会事業計画について

ウ 議案第3号 令和5年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会会計収支予算について

(4) 評議員選任・解任委員会

① 令和4年第1回評議員選任・解任委員会開催

日時 令和4年6月3日（金）午前10時00分開会

場所 蕨市総合社会福祉センター ケアハウス2階会議室

議事

ア 議案第 1 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
評議員の選任について

② 令和 5 年第 1 回評議員選任・解任委員会開催

日 時 令和 5 年 3 月 1 7 日（金）午前 1 0 時 0 0 分開会
場 所 蕨市総合社会福祉センター ケアハウス 2 階会議室
議 事

ア 議案第 1 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
評議員の選任について

(5) 監査会

① 令和 4 年第 1 回監査会開催

日 時 令和 4 年 5 月 2 0 日（金） 午前 1 0 時 0 0 分
場 所 蕨市総合社会福祉センター ケアハウス 2 階会議室
審 査

ア 令和 3 年度 理事の職務執行状況について

イ 令和 3 年度 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会事業報告について

ウ 令和 3 年度 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会会計決算について

2 会員確保と広報啓発活動の推進

地域福祉の推進は、地域住民一人ひとりが福祉活動やボランティア活動に参加することを基本とし、共に支え合い、共に助け合う理念のもと、社協支部と連携し、会員確保と広報啓発活動の推進に努めた。

なお、社協支部で行う会費の集金については、納期を定めず年間を通しての活動とし、新型コロナウイルス感染症予防対策に充分注意した活動をお願いした。

(1) 社協会費（年会費）一般 1,000 円／口・法人 5,000 円／口

会員種別	会員数	口 数	金 額
一般会員	3,231 人	3,575 口	3,575,000 円
法人会員	89 人	122 口	610,000 円
合 計	3,320 人	3,697 口	4,185,000 円

(2) 広報啓発活動

- ア 広報紙「わらび社協福祉だより」の発行（共同募金財源）
年3回（5月・11月・1月）全戸配布 36,000部
- イ はじめてのボランティア体験プログラムメニューチラシの発行
市内学校、公共施設等へ配布
- ウ わらびファミサポ通信及びリーフレットの発行
年4回（4月・7月・10月・1月）会員他、関係機関へ配布
- エ ファミリー・サポート・センター会員募集チラシ付ティッシュ、
ウェットティッシュ及びポスターの配布
年4回（3月・6月・10月・1月）各公共施設・市内医療機関
に配布

3 地域福祉の推進

新型コロナウイルス感染症予防対策に充分注意をし、支部活動を実施した。

(1) 支部活動の推進

小地域活動の拠点として、5支部によりコロナ禍において自主的な事業を展開し、地域福祉の推進を図った。

① 支部活動の充実

- 支部助成金 1,250,000円（活動費）
- 小地域活動助成 225,720円（会費還元金）
- 事業費補助 141,775円（給食事業費）

② 支部による地域福祉活動の拡充

ア 愛の給食サービスの実施

実施状況（1食 600円・調味料 1ヵ月 2,000円）

支部別内訳

支部名	配食数	実施日
南町支部	196食	毎月第2・第3・第4金曜日
塚越支部	31食	毎週金曜日

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止した支部もあったが、お弁当を購入し配食するなど工夫をしながら実施した。

イ 会食事業の実施

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を予定していた全ての支部が中止とした。

ウ 見守り活動事業の実施

各社協支部において、愛の給食を配食する際の安否確認や毎日の

声かけ、定期的な訪問による話し相手のほか、適宜、外観からの見守りなど生活環境や健康上の変化を見守り、事故や緊急事態を未然に防ぐため、見守り活動事業を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した支部もあった。

見守り対象者数内訳

支部名	男性	女性	合計数
錦町支部	3人	4人	7人
北町支部	3人	8人	11人
中央支部	0人	7人	7人
南町支部	25人	75人	100人
塚越支部	0人	0人	0人
合計	31人	94人	125人

エ 蕨市地域交流サロンの運営

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての支部でのサロン活動が中止となった。

オ 社協支部情報交換会の実施

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、各支部の状況確認や意見交換、情報提供等を目的として開催した。

① 令和5年 3月 8日

支部事業についての情報交換会

愛の給食サービス 事業基準の見直しについて

各支部2～3名出席

(2) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）の実施

高齢者や知的障害・精神障害等のある方に対し、地域で安心して生活ができるよう生活支援員が定期的に訪問し、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理を行い支援した。

新型コロナウイルス感染症予防対策に充分注意しながら支援活動を実施した。

① 契約成立件数 1件

② 解約件数 0件

③ 実利用者数 3人（令和5年3月31日現在）

④ 生活支援員数 2人

⑤ 相談援助件数

	本事業に関するもの				その他	合計
	認知症 高齢者等	知的障害者	精神障害者	不明 その他		
a. 問合せ件数 (制度、事業について)	2	1	0	0	0	3
b. 初回相談件数 (初回相談受付)	5	0	1	0		6
c-1. 相談援助件数 (a b以外) 契約前	22	0	7	1		30
c-2. 相談援助件数 (a b以外) 契約後	4	3	52	1		60
合計	33	4	60	2	0	99

⑥ 生活支援員活動実施回数

対象	認知症 高齢者等	知的 障害者	精神 障害者	合計
回数	4	0	58	62

(3) ファミリー・サポート・センター事業の実施

子育ての援助を行いたい方と子育ての援助を受けたい方を会員として登録し、会員間による子育ての援助活動を支援することにより、仕事と家庭の両立を図るとともに、地域の子育て支援機能の強化を図り、親が安心して子育てすることのできる環境づくりを推進した。

また、マスクの着用や外出先から帰宅時の消毒の徹底など新型コロナウイルス感染症に充分注意しながら支援活動を実施した。

① 会員数（令和5年3月31日現在）

会員種別	会員数
依頼会員	433人
提供会員	103人
両方会員	89人
合計	625人

② 援助活動

ア 事前打合せ件数 55件 244人

イ 援助活動件数 1,682件

③ 説明会・講習会 4回 13人

④ 個別説明

平日窓口対応 33回

イベント時対応

(新型コロナウイルス感染症の影響により)

センターまつり、ふれあい広場が中止)

- ⑤ サブリーダー会議 13回 延 55人
- ⑥ 全体交流会 2回 57人
- ⑦ 提供・両方会員交流会 1回 13人
- ⑧ フォローアップ講習会 1回 9人

(4) ボランティアセンターの運営と地域ボランティアの育成

新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえボランティアの育成に努めた。また、福祉体験用具の消毒を行い感染予防に努めた。

① ボランティア登録数

ボランティアグループ登録数 47グループ (1,276人)

個人ボランティア登録数 109人

② ボランティア保険加入人数 1,583人

③ ボランティア派遣件数

派遣依頼件数 6件

派遣実績 2件

派遣人員 0個人、2団体

派遣内訳

派遣先	件数
福祉施設	1件
個人	1件
合計	2件

④ ボランティア育成等に関する講座等の実施

ア 親子向けはじめての点字の開催 (2/4、2/18)

開催数 2回 参加延人数 10人

イ 蕨市聴覚障害者協会並びに蕨市登録手話通訳者の協力により講習会の開催

○ 入門手話講習会 開催数 20回 参加延人数 154人

(毎週土曜日 4/9～8/27)

○ 初級手話講習会 開催数 25回 参加延人数 238人

(毎週土曜日 9/10～3/11)

ウ 傾聴基礎講座の開催 (3/6、3/13)

開催数 2回 参加延人数 18人

⑤ ボランティア体験学習事業の実施

2022年夏はじめてのボランティア体験プログラム事業を実施した。

開催期間 8月 参加人数 45人

協力ボランティア7グループ、協力福祉施設10施設

福祉体験学習事業の実施

小学校・中学校と連携し、児童・生徒を対象として、福祉活動を体験、学習することにより、社会福祉への理解と関心を深め、社会連帯意識の高揚を図るとともに、児童・生徒を通じて、家庭及び地域社会への啓発を図ることを目的として、福祉体験学習事業を推進した。

なお、福祉体験用具の貸出しの際は、都度、消毒を行い新型コロナウイルス感染症予防対策に努めた。

体験メニュー	延実施回数
手話体験学習会	0回
点字体験学習会	4回
アイマスク・車椅子体験学習会	3回
高齢者疑似体験学習会	4回
福祉体験用具の貸出	2回
合 計	13回

(5) 心配ごと相談所の開設

開設日数 11日

件 数 7件

相談員 10人

相談内訳

区 分	件数	区 分	件数	区 分	件数
生 計	0件	離 婚	0件	老人福祉	0件
年 金	0件	医 療	1件	苦 情	1件
住 宅	1件	財 産	0件	職業生業	0件
家 族	3件	保健衛生	0件	そ の 他	3件
児童福祉	0件	人権法律	0件	合 計	9件

※2名の方が2区分の相談をおこなった。

(6) 有償ボランティアサービスの実施

【有償ボランティアサービス事業会員数】

(令和5年3月31日現在)

	北 町	塚 越	南 町	中 央	錦 町	合 計
依頼会員	38人	34人	43人	65人	40人	220人
提供会員	20人	15人	16人	30人	19人	100人
両方会員	1人	0人	0人	0人	1人	2人
合 計	59人	49人	59人	95人	60人	322人

【有償ボランティアサービス事業活動件数及び時間】（令和5年3月31日現在）

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
掃除	18	17	26	21	19	37	36	39	41	35	32	42	363
	19:30	20:30	30:30	25:30	21:00	44:00	42:00	45:00	44:30	41:30	35:00	47:30	416:30
買物	17	12	13	7	13	12	21	21	29	19	19	21	204
	17:00	12:00	12:00	7:00	12:30	10:30	20:30	21:00	5:00	19:00	19:00	22:30	202:00
外出	1	0	4	0	1	1	1	4	0	1	0	0	13
	1:30	0:00	4:00	0	2:00	1:00	1:00	4:30	0:00	2:00	0:00	0:00	16:00
ゴミ出し	20	17	21	24	17	26	37	29	26	32	25	32	306
	10:00	8:30	10:30	13:00	8:30	13:30	19:00	16:00	13:30	19:30	13:30	16:30	162:00
通院付添い	4	4	2	5	4	4	2	3	5	7	13	5	58
	15:00	21:30	6:30	15:00	10:30	9:30	8:00	6:30	10:30	16:00	21:00	12:30	152:30
話し相手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
その他	5	3	7	6	6	5	2	4	5	1	2	2	48
	4:30	3:30	7:00	6:00	6:30	6:30	2:30	5:00	4:30	1:00	1:00	2:30	50:30
合計	65	53	73	63	60	85	99	100	106	95	91	102	992
	67:30	66:00	70:30	66:30	61:00	85:00	93:00	98:00	102:00	99:00	89:30	101:30	999:30

4 高齢者福祉事業の推進

(1) 老人福祉センター松原会館の運営

リニューアルオープンから1年が経過し、福祉だより等で広報活動を行い、クラブ団体の登録数が増えた。更なる利用者獲得の為、クラブ団体等の会員募集を行う掲示コーナーを設けた結果、利用人数も増加した。また、各種別の個別相談事業を実施し、各種相談に応じた。館内においては、土足利用を可能にすることで利便性を高め、かつ安全に利用できるようにするとともに、来館者には引き続き消毒や検温など感染症対策を行った。

① 開館日数 246日 ※講座等123日開催

② 年間利用者延人数 4,732人（1日平均 19.2人）

ア 個人 6人

イ 団体 2,602人

登録数 令和4年4月の延人数 7団体 82名

令和5年3月の延人数 13団体 322名

ウ 趣味講座 1,866人

3B体操、書道（初級～中級）、デッサンからの絵画入門、童謡・唱歌、フラワーアレンジ、やさしいヨガとストレッチ

エ 相談事業 29人

介護個別相談、講演会「お通じについて」、健康個別相談

オ 健康教室 5回 53人 三つのバネ体操

カ その他（郷グラウンドゴルフクラブほか） 176人

(2) 軽費老人ホームケアハウス松原の受託経営（指定管理者制度事業）

入所者自身の自主性を尊重し、自立生活を側面から支援することを基本に、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しながら共同生活の円滑化、入所者の希望を取り入れての季節の催事等、事業の充実に努めるとともに、快適でゆとりある生活をできるだけ長く送れるよう休日や緊急時等の対応も含め支援した。

入所者の健康保持を目的に、健康診断を年1回実施し、また設備面では、居室内の経年劣化に伴う冷暖房設備等を計画的に修繕するとともに、入所者確保のため、インターネット媒体等を活用し広く啓発活動を行った。

① 利用状況（令和5年3月31日現在）

定員 27室 30名

（1人用居室24室24名・2人用居室3室6名）

入所者数 24室 26名

（1人用居室22室22名・2人用居室2室4名）

平均年齢 83.5才

② 事業実施状況

実施日	事業内容
4月	前期 健康相談実施（9日間）全入所者
6月21日	火災避難訓練（夜間想定）
9月22日	秋の交流会（ボウリング・輪投げ等）
9月28日	水害避難訓練（避難・持出品確認訓練等）実施
10月	前期 健康相談実施（6日間）全入所者
11月 1日	入所者健康診断（集団健診）25名受診

1 1月 1 1日	蕨市総合社会福祉センター「消防訓練」
1 2月 2 7日	年忘れ会（揚げ餅づくり・お供え飾り）
1月 1日	お正月祝い膳（おせち料理）
1月 3 0日	お汁粉づくり
3月 2日	食事に関する懇談会
3月 3 0日	年度末懇談会・茶話会（新年度事業計画等説明）
【入所選考委員会】 ○ 5回開催（書類選考）	
【レクリエーション】 ○ 毎週火・水曜日 カラオケ・体操等	

(3) 高齢者等世話付住宅（市営赤田住宅）への生活援助員の派遣

生活援助員を派遣し、生活相談・安否確認・一時的な家事援助等のサービスを行うとともに、自立した快適な在宅生活が営めるよう催し物を企画・開催し、シルバーハウジング入居者間はもとより、一般住宅居住者との交流の促進に努めてきた。

① 利用状況（令和5年3月31日現在）

定 員 24室 26名

（1人用居室 22室 22名・2人用居室 2室 4名）

入所者数 20室 21名

（1人用居室 18室 18名・2人用居室 2室 3名）

平均年齢 77.2才

② 事業実施状況

実施日	事業内容
5月 2 4日	運動会
7月 5日	七夕飾り付け
1 2月 2 0日	クリスマス会
【自主活動】	
○午前10時～ ストレッチ・わらび元気体操・交流	

(4) 蕨市第一地域包括支援センター（愛称：高齢者サポートセンター）の受託経営

蕨市第一地域包括支援センターは、高齢者が住みなれた地域で尊厳あるその人らしい生活が維持できるよう、高齢者やその家族の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行った。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い高齢者の外出が困難となり歩行や認知能力の低下といった新たな課題が出現しているため、地域包括支援セ

センターの業務が中断されることのないよう感染対策を行い、業務継続できる体制作りを行った。

① 総合事業

◎ 一般介護予防事業

ア 介護予防把握事業

- 担当地区高齢者 8,740 名
- 介護予防事業対象者把握者数 5 名
- 住民運営の通いの場につながった人数 1 名

イ 介護予防普及啓発事業

- フレイル予防教室 延参加者 34 名(3 か所/6 回)
- カフェきらり 延参加者 177 名(1 か所/11 回)
- おおいきいき教室 延参加者 57 名(1 か所/5 回)
- 出前教室 延参加者 64 名(3 か所/3 回)
- 誰でもサロン 延参加者 89 名(1 か所/9 回)

ウ 地域介護予防活動支援事業

- 介護予防講師養成研修等 延参加者 71 名(1 か所/8 回)
- いきいきわらび活動状況 延参加者 1,287 名(9 か所/309 回)
- 住民運営通いの場(いきいき百歳体操)参加状況
延参加者 3,101 名(9 か所/309 回)
- 運営支援(再開支援) (9 か所/99 回)

② 介護予防サービス計画の作成

ア 指定介護予防事業(要支援状態のケアプラン作成)

ケアプラン作成件数			ケアプラン 委託件数	ケアプラン 新規作成
要支援 1	要支援 2	計		
755 件	890 件	1,645 件	898 件	57 件

イ 介護予防ケアマネジメント

ケアプラン作成件数				ケアプラン 委託件数	ケアプラン 新規作成
事業対象者	要支援 1	要支援 2	計		
86 件	695 件	516 件	1,297 件	685 件	55 件

③ 総合相談支援業務

地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするため、65歳以上の高齢者の総合相談

窓口として、介護保険利用援助のみならず高齢者の健康問題や近隣トラブル、経済・精神的問題、認知症対応等について取り組んだ。

相談件数	3,530 件	
相談内訳	介護保険関係	2,121 件
	住まい・施設の相談	493 件
	福祉用具・住宅改修	385 件
	認知症関係	808 件
	介護予防関係	94 件
	医療関係	769 件
	高齢者福祉サービス	179 件
	経済問題	593 件
	精神的な訴え	311 件
	申請代行	74 件
	安否確認	237 件
	その他(不動産売却, 銀行手続ほか)	815 件

※1 件の相談で、重複する相談あり。

④ 権利擁護業務

困難な状況にある高齢者が安心して生活することができるよう、専門的・継続的な視点から支援を行った。

相談件数	307 件	
相談内訳	成年後見制度関係	149 件
	高齢者虐待関係	158 件
	消費者被害関係	0 件
	その他	0 件

⑤ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

多職種相互の連携、協働等による体制づくりや介護支援専門員に対する支援等を行った。

ア	地域ケア会議の開催	5 回	
イ	ケアマネジャー研修及び交流会の実施	3 回	82 名出席

⑥ 高齢者を介護する家族に対する支援

○	介護者交流サロン	9 回	81 名出席
---	----------	-----	--------

⑦ 任意事業

○	始めよう人生会議	1 回	17 名出席
○	成年後見制度講座	1 回	19 名出席

⑧ 認知症総合支援事業（認知症地域支援推進員の配置）

- 認知症地域支援推進員配置の周知及び蕨市認知症安心ガイドブックの普及啓発
- 認知症サポーター養成講座 延参加者 34名(4か所/4回)
- 認知症サポーターフォローアップ講座 延参加者 15名(1か所/1回)
- 認知症普及啓発事業 延参加者 239名(4か所/12回)
- 出前講座 延参加者 44名(2か所/2回)
- 多職種連携会議（書面会議） 延参加者 21名
- 連携会議 49回
- 認知症カフェ事業 令和4年度中止
- 認知症の人とその家族を支援する相談支援・支援体制の構築

(5) 生活支援体制整備事業の受託

生活支援体制整備事業では、高齢者が住み慣れた地域で安心した生活が維持できるよう、地域における生活支援サービスの提供体制整備に向けた取り組みを推進した。

① 地域ニーズと資源の見える化、問題提起

ア 地域支えあい推進協議会を開催

イ 75歳以上の一人暮らし高齢者を対象に困りごとアンケートを実施

ウ あるあるわらび元気お散歩ラリーの実施

(全5回 延106名参加)

エ 「まちづくりの会」の実施 (全2回 延40名参加)

オ 自立支援型地域ケア会議への参加 (ZOOM開催、全12回)

② 資源開発

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、事業を実施した。

ア 生活支援サポーター養成講座を開催 (全4回、23名参加)

イ あるあるわらび(集いの場ガイドマップ)の更新

ウ 社会資源情報の更新

5 在宅福祉サービス事業の推進

(1) 居宅介護支援事業の実施

要介護と認定された高齢者等に対し、可能な限り居宅において自立し

た日常生活を営むことができるよう心身の状態、有する能力の状況等に
 応じて適切な保険・医療サービスが多様な事業者から総合的かつ効率的
 に提供されるよう配慮し、居宅介護支援事業を実施した。また、新型コ
 ロナウイルス感染症の対策として、事務所内パーテーションの設置や換
 気を徹底し感染予防に努めた。

① 居宅介護支援介護度別提供状況

要介護 1	916 件		
要介護 2	549 件		
要介護 3	300 件		
要介護 4	163 件		
要介護 5	102 件	計	2,030 件 (月平均約 169.2 件)
(加 算)			
初回加算	66 件	入院時連携	30 件
退院退所	5 件		

特定事業所加算Ⅱ 令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月

② 介護予防サービス計画作成受託件数

要支援 1	71 件		
要支援 2	208 件	計	279 件 (月平均約 23.3 件)

③ 認定調査実施状況

更 新	158 件		
区分変更	20 件	計	178 件 (月平均約 14.8 件)

(2) 訪問介護事業の実施

日常生活を営むのに支障のある方（高齢者、障害者等）の家庭に対し、
 ホームヘルパーを派遣して、身体介護、家事援助等の日常生活の支援を
 行い、居宅で自立した生活を送るのに必要なサービスの提供を行うとと
 もに、移動支援事業においても社会生活上必要な外出及び余暇活動等、
 社会参加のための外出の移動支援サービスの提供に努めた。また、新型
 コロナウイルス感染症の対策として、訪問時の消毒の徹底や、事務所内
 パーテーションの設置や換気を徹底し、感染予防に努めた。

① 介護保険事業（月平均利用実人数 32.8 人）

身体介護	1,399 回 (827 時間)
身体生活	203 回 (204 時間)
生活援助	908 回 (692 時間)
訪サ I	681 回 (560 時間)
訪サ II	426 回 (382 時間)

訪サ III 0回 (0時間)

② 障害者総合支援事業 (月平均利用実人数 20.2人)

身体介護 751回 (459時間)

家事援助 847回 (647時間)

重度訪問介護 162回 (257時間)

同行援護 24回 (43時間)

移動支援 287回 (247時間)

③ 24時間緊急派遣事業

派遣回数 66回

(3) 訪問看護事業の実施

在宅で療養される方に対して、適確なケアとアドバイスで安心して過ごせるよう支援するとともに、看護師に加え、リハビリスタッフの充実により自宅での生活の質の向上に努め、緊急時に際しては24時間対応の体制をとり、夜間、休日でも不安なく過ごせるよう支援した。

また、住み慣れた家で最期まで過ごせるよう、医師の指示による疼痛管理、症状の緩和、精神的ケアを行いご家族と共に安らかな看取りができるよう努めた。残されたご家族のグリーフケアについても行い、少しでも悲しみが軽減されるような関わりをした。

また、新型コロナウイルス感染症の対策として、訪問時の消毒の徹底や、事務所内パーテーションの設置や換気を徹底し、感染予防に努めた。利用者のコロナ感染時もPPEを装着し、医師の指示により対応した。

① 訪問看護利用状況 (月平均利用実人数 約92人)

訪問総回数		6,293回
ア 介護保険	看 護	4,034回
	予防看護	656回
イ 医療保険		1,603回
ウ 在宅がん医療総合診療		0回

② 主な看護内容

バイタルサインチェック	清潔ケア	創処置	寝衣・寝具交換	移動の介助
排泄介助	リハビリテーション	褥瘡の予防・処置	経管栄養管理	在宅酸素管理
内服指導	療養指導	介護指導	食事・栄養指導	ドレーン管理
腎・膀胱瘻管理	バルンカテーテル管理	吸引・吸入	持続皮下注	血糖測定
インスリン注射	PPN管理	エンゼルケア	ストマ管理	点滴静注管理

(4) その他の在宅福祉事業

① 福祉車両貸出事業の実施

移動が困難な障害者（児）、又は高齢者等に対し、車椅子等で乗車できる福祉車両を貸出し、当該障害者（児）、又は高齢者等の社会生活の利便向上と生活圏の拡大、社会参加の促進を図った。

なお、車両の貸出しの際は、都度、消毒を行い新型コロナウイルス感染症予防対策に努めた。

ア 申請件数 7件

イ 貸出件数 7件

② 在宅用福祉機器貸出事業の実施

貸出内訳

種 別	保有台数	貸出件数
車椅子	57台	延 55件
白 杖	20本	0件
ヘルスバッグ	15台	8件

6 障害児（者）支援事業の推進

(1) 手話通訳者派遣等事業の実施

新型コロナウイルス感染症予防対策に充分注意しながら聴覚障害者の家庭生活ならびに社会生活におけるコミュニケーションを円滑に行うため、以下の体制で手話通訳者を派遣した。また、登録手話通訳者選考試験については、3月12日（日）に開催し、2名が合格となり、令和5年度より、登録手話通訳者として委嘱した。

① 手話通訳者派遣事務所の体制

登録手話通訳者 4名 専任手話通訳者 2名（非常勤）

② 手話通訳者の派遣

派遣件数 215件 派遣人員 240人 電話通訳・相談等 57件

依頼内容内訳

ア 聴覚障害者からの依頼 168件

内訳 生活に関すること 38件 医療に関すること 110件

教育に関すること 14件 職業に関すること 1件

その他 5件

イ 行政、団体からの依頼 47件

内訳 会議 6件 講習会 20件

その他（行事等） 21件

③ 手話通訳者の養成

蕨市聴覚障害者協会並びに蕨市登録手話通訳者の協力を得て講習会を実施した。

- 手話通訳者養成講習会 開催数 45回 参加延人数 165人
 (毎週水曜日 4/13～2/8)
- 手話通訳者養成準備コース 開催数 20回 参加延人数 16人
 (毎週火曜日 6/7～11/8)

④ 会議

以下のとおり会議を開催した。

- ア 手話通訳者派遣等事業連絡協議会
- イ 登録手話通訳者選考試験審査会
- ウ 登録手話通訳者会議

⑤ 各種研修等

登録手話通訳者、専任手話通訳者の技術研鑽のため、以下の研修等を開催又は参加した。

- 市登録手話通訳者研修会（埼玉聴覚障害者情報センター主催）
 - ※ 蕨市登録手話通訳者研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- このほか、職員研修の一環として手話講習会を実施

(2) 多機能型事業所スマイラ松原の受託経営（指定管理者制度事業）

多機能型事業所スマイラ松原は、障害者総合支援法に基づく生活介護事業、就労移行支援事業、就労継続支援B型事業の3つの機能を兼ね備えた多機能型の事業所として、ホームページや広報誌を通じて情報を発信していくことに努めた。また、地域や行政の事業に積極的に参画するなど、地域の方々に認知され親しまれる事業所となるよう努めた。利用状況においては、利用者本人・保護者の高齢化に伴う生活拠点の移動を伴う他施設への入所が増加傾向にあり、利用登録者数が減少した。登録者数の補完に対し、近隣支援学校の事業説明会への参加、当事業所独自の入所説明・見学会を開催、支援校実習生の積極的受け入れを行った。

また、利用者の日中活動の場を確保できるよう、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた他、保護者の高齢化により利用者を医療機関に引率することが困難な状況等を鑑み、希望者に対して新型コロナウイルスワクチン及びインフルエンザワクチンの集団接種を実施した。

事業実施状況

実施日	事業内容
-----	------

4月11日	入所式
5月18日～	個別面談（兼モニタリング説明会）（共通）
5月31日	就労セレモニー
6月28日	防災訓練（洪水想定、引き渡し訓練）
7月～	会食会（生活介護）
7月 4日	定期健康診断（共通）
7月 6日	蕨ブランド一次審査
7月24日	戸田かけはし特別支援学校福祉事業所合同説明会参加
8月17日	新型コロナウイルスワクチン集団接種
8月19日～	入所説明・見学会（共通）
9月～	官公庁受託（敬老祝品配送作業）（就労継続B型）
10月～	宿泊訓練（就労継続B型）
11月 1日～	個別面談（兼個別支援計画説明会）
11月 1日～	社会適応訓練（生活介護）
11月	ぐるぐる蕨掲載
11月11日	蕨市総合社会福祉センター「消防訓練」
11月15日	蕨ブランド最終審査
11月18日	インフルエンザワクチン集団接種
11月21日	埼玉県知事ふれあい訪問（就労継続支援B型）
12月 6日	後期健康診断（嘱託医）（共通）
12月 9日	就労セレモニー
12月16・17日	クリスマス会（生活介護）
1月13日	新年おもちつき会（共通）
1月18日	後期健康診断（共通）
1月20日	新型コロナウイルスワクチン集団接種
2月17日	入所判定委員会
2月17日	防災訓練（火災想定避難訓練）
2月20日	蕨ブランド認定書授与式
3月10日	入所判定委員会
3月13～17日	活動発表会（生活介護）
3月20日	年度末反省会（就労継続B型）
3月27日	防災訓練（地震想定避難訓練）

① 生活介護事業

身体機能及び日常生活能力を維持向上するために、運動活動や創作活動等を通じ必要な訓練を行った。今年度は新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、少人数単位での館外活動（社会適応訓練）を再開し、施設外での過ごし方やルールやマナーを守ることを学び、地域と関わった。また身体の状態に応じて入浴・排泄・食事の介護等サービスを提供した。

自主生産品として作成した物を、公民館での講座の記念品として利用してもらう機会もあり、利用者の活動参加の励みと自信に繋がった。また、就労継続B型事業のスマイラ松原売店内にて、プランター菜園で収穫した野菜や陶芸の作品を販売し、活動を紹介する機会とした。

ア 登録者数(3月31日現在) 34名(男22名、女12名)

平均年齢 41才5ヶ月

延利用者数 7,114名(240日)

○ 入浴サービス 154回

○ 送迎サービス 12,268回

② 就労継続支援B型事業

就労継続支援B型事業は、一般就労が困難な障害のある利用者が、それぞれの障害に応じた訓練等を行い、自立と社会参加が出来るように支援してきた。通勤訓練・販売事業等を通して、社会性スキルの取得に繋がるように努めた。

パン製造・販売事業では、「小さな蕨の小さなパン『結』」が、第三期蕨ブランドの認定をいただいた。また、地域協力事業として、市内商店と商品の共同開発を行い、相互の啓発・事業の活性化に努めた。今年度は新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら各イベントにも参加し、地域交流を行うことが出来た。

受託事業では、官公庁からの委託作業を積極的に受注し、利用者工賃の確保とともに、地域のお役に立てる機会として、利用者の就業意識の向上に繋げた。

ア 登録者(3月31日現在) 16名(男11人 女5名)

平均年齢 44歳0ヶ月

延利用者人数 3,378名(243日)

イ 職業支援及び実績

それぞれの障害状況に応じた作業訓練を行うことで、出来ることを増やし、個々の自信に繋がるように努めた。また、地域や行政との繋がりを持つ機会をプログラムに組み入れ、外部の方々とは接する機会が

増えたことを通して、接遇面の見直し、地域の一員である事を体感できるように努めた。

生活指導にて、中長期的視点が持てるように、個々の訓練経緯をフィードバックした上で次の目標を考え、次のステップへの意欲に繋がるように努めた。

- 事業所内作業
 - パン製造・販売事業
 - 製品（商品）販売事業
飲料類、菓子類、自動販売機
郵便切手類の受注販売（蕨市役所他）
蕨ブランド認定商品の受託販売
 - 受託加工事業
証紙貼、カード封入、ダンボール糊付等
敬老祝い品配達業務
- 事業所外作業
 - リサイクルフラワーセンター事業等

※ 工賃支給実績

一人当たりの月平均工賃支給額 29,522 円（支給対象者）

ウ 社会生活力支援

新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、少人数での宿泊訓練を実施した。現実的な将来を見据え、個々の実生活に則した生活面の課題を抽出し、地域で生活していく上での必要なスキルを身につけられるように継続支援を行っていく。

エ 就労支援及び実績

新規企業実習先の確保は達成したが、新型コロナウイルス感染状況により、先方の受入体制が整わないことで、実績には至らなかった。

③ 就労移行支援事業

就労移行支援事業では、総合福祉センター内の事業所に依頼し、コミュニケーション能力や作業能力の向上に努めるプログラムを実施した。新たな事業として、老人福祉センター松原会館での清掃、リサイクルフラワーセンターでの作業を受託し、収入を受け工賃の支給を行った。また、企業実習や面接を経て、2名の利用者が就職した。

ア 登録者数(3月31日現在) 1名
平均年齢 21才
延利用者数 440名(239日)

- 事業所外作業
 - 老人福祉センター松原会館清掃

■ リサイクルフラワーセンター事業

※ 工賃支給実績

一人当たりの月平均工賃支給額 7,003 円（支給対象者）

④ 日中一時支援事業、夜間保護事業

在宅障害者及び障害児のセーフティネットの一環として、日中における活動の場及び夜間における一時的保護の場を提供し、日常的に介護している家族の一時的な休息を目的とする支援活動を行った。

ア 日中一時支援事業

延利用者数	214 名
○ 入浴サービス	6 回
○ 給食サービス	15 食
○ 送迎サービス	207 回

イ 夜間保護事業

延利用者数	11 名
○ 入浴サービス	2 回
○ 給食サービス	44 食（朝 22 食、夕 22 食）

(3) 障害者福祉センタードリーマ松原の受託経営（指定管理者制度事業）

ドリーマ松原では、障害者福祉センター・地域活動支援センター・障害者就労支援センター・障害者相談支援事業の各事業を様々な職種の専門員等の連携により、市内在住の障害のある方の生活を多方面からサポートし、自立や社会参加の促進を図った。

① 障害者福祉センター

障害者福祉センター事業では、部屋の貸し出しのほか、障害のある方やその家族に対し、生活の向上につながる各種講座を開催した。本年度については、蕨市の新型コロナウイルス対応方針に従い、各部屋の貸し出しを行った。また、各種講座の開催にあたっては、手指消毒や3密にならないよう感染予防に努めた。本年度より、わらびネットワークステーションに講師の派遣を依頼し、新規講座として体操講座を開催した。

ア 障害者福祉センター部屋貸し出し実績

部屋名	利用回数	部屋名	利用回数
福祉団体連絡室	25 回	集会室 2	105 回
おもちゃのいえ	75 回	集会室 3	108 回
録音室	20 回	その他	0 回
集会室 1（多目的ホール）	25 回	計	358 回

イ 障害者福祉センター講座実績

実施日数	5日
講座数	5講座（体操講座、トールペイント講座他）
延利用者	35名

※ 講座利用者の実態把握などを目的にアンケート調査を毎回実施

② 地域活動支援センター

地域活動支援センターは、障害のある方に機能訓練、社会適応訓練、スポーツ・レクリエーション等の基本事業や創作的活動を提供し、社会との交流の促進を図り自立に向けた地域生活の支援を行った。昨年度に引き続き、利用者の日中活動の場を確保できるよう、新型コロナウイルス感染拡大による感染防止策を講じた。また、新型コロナウイルス感染防止対策の緩和に柔軟に対応しながら、安心・安全に通所出来るように努めた。

ア 登録者数(3月31日現在) 24名(男11名、女13名)

平均年齢	55.7歳
延利用者数	2,003名(243日)
○ 入浴サービス	818回
○ 給食サービス	1,823食
○ 送迎サービス	2,924回

イ 事業実施状況

実施日	事業内容
6月 各日	体力測定(2日～28日の内5日)
10月・11月	団体行動訓練(10月25・31日、11月2日)
11月11日	蕨市総合社会福祉センター「消防訓練」
12月 各日	クリスマス交流会(参加者18名)22・23日
2月 各日	避難訓練(水害想定)27・28日、3月1・2・3日
2月 4日	地域交流事業(全参加者17名のうち地活7名)
3月22・27日	お花見(富士見公園)参加者13名

③ 障害者就労支援センター

就職支援として企業面接の同行等をはじめ、就職後も安定した生活を続けられるよう職場訪問等の支援を行った。また、離職となった際にも離職手続き等の支援を行い、再就職を目指すための訓練情報提供や施設紹介を行った。新型コロナウイルス感染防止対策としては、必要に応じたZoomでの職場定着支援や、事務所内の換気の徹底、アクリル板の設置等、感染予防に努めた。

ア 登録者数(3月31日現在) 15名(通算延登録者数115名)
(身体1名、知的3名、精神11名)

就労者数(3月31日現在) 10名(通算延就労者数72名)
(知的5名、精神5名)

※内訳(就職23名、離職13名、登録抹消4名)

就職者(職種) 販売品出し業務、水耕栽培、事務補助、清掃
業務、介護補助等

登録抹消者 逝去、転居の為

支援方法

○ 来所対応	198件	○ 電話対応	1,910件
○ 訪問対応	362件	○ 余暇活動	17件

イ 事業実施状況

○ 関係機関等連携会議

さいたま桜高等学園就労支援連絡会 年1回

企業主催雇用障害者就労支援機関連絡会 年10回

県・雇用サポートセンター等主催会議 年8回

○ 余暇活動(地域交流事業含む) 年2回

④ 障害者相談支援事業

障害のある方やそのご家族の相談に応じ、障害福祉サービス等の情報提供、助言、サービスの利用支援や権利擁護、同行支援や訪問支援など当事者のニーズに基づく支援を行った。新型コロナウイルス感染防止対策としては、必要に応じたZoomでのモニタリングや、事務所内の換気の徹底、アクリル板の設置等、感染予防に努めた。

ア 障害者相談支援事業

支援方法

○ 来所相談	113件	○ 電話相談	277件
○ メール	371件	○ 訪問	46件
○ 関係機関	370件	○ その他	35件

支援内容

○ 福祉サービスの利用	468件
○ 家計・経済の支援	136件
○ 健康・医療の支援	57件
○ 不安解消の支援	546件
○ 家族・人間関係の支援	153件
○ その他	161件

イ 指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業

契約者数 193名（障害者124名、障害児69名）
 計画相談支援・障害児相談支援（計画・モニタリング作成件数）

- 障害児支援利用計画 75件（更新含む）
- 継続障害児支援利用援助 152件
- サービス等利用計画 116件（更新含む）
- 継続サービス利用支援 292件

ウ 基幹相談支援センター
 会議等

- 自立支援協議会 1回
- 相談支援部会 6回
- 権利擁護部会 3回（うち情報交換会1回）
- 地域ネット支援部会 8回（うちワーキンググループ7回）
- 基幹主催の講演会・研修会 5回

虐待防止センター

実対応者数 4名（知的3名、精神1名）

支援方法

- 電話相談 1件 ○ 訪問 7件
- 関係機関 27件 ○ 来所相談 1件
- 同行 6件 ○ 個別会議 3件

7 生活困窮者支援事業の推進

(1) 蕨市生活自立相談支援センターの受託経営

蕨市からの委託を受け、現に経済的に困窮し、生活の維持が困難となるおそれのある方々を対象に新型コロナウイルス感染症予防対策に充分注意しながら包括的な相談支援を行った。

① 自立相談支援事業

相談受付件数 207件
 （うち本人特定153件、申込件数143件）

プラン策定前支援終了件数 162件（初回スクリーニング時）

関係機関との調整件数 96件

支援調整会議の実施回数 4回

支援決定・確認件数 4件

評価実施件数 4件

生活保護受給者等就労自立

促進事業の利用要請件数	2 件
住居確保給付金相談件数	465 件
② 家計改善支援事業	
相談受付件数	2 件
支援決定件数	1 件
支援延件数	0 件

(2) 生活福祉資金の貸付（埼玉県社協貸付制度）

低所得者、障害者又は高齢者に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的として資金の相談を行った。

また、新型コロナ特例貸付を令和4年9月末まで、生活困窮者自立支援金を令和4年12月まで実施、貸付及び給付終了後なお生活に困窮されている方に対しては、生活困窮者自立相談支援事業をはじめとする各種支援や相談支援窓口の活用を促すなど、適切にフォローアップし、必要な支援を行った。

資金の貸付件数 合計 3,689 件

貸付内訳 ○ 生活福祉資金	小計 3,687 件
福祉・教育・小口資金	貸付中件数 1,172 件
うち新規 115 件（教育 2 件、小口 0 件、特例 113 件）	
総合支援資金	貸付中件数 2,509 件
うち新規 113 件（特例 113 件）	
離職者支援資金	貸付中件数 4 件
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	貸付中件数 2 件
○ 臨時特例つなぎ資金	小計 2 件
臨時特例つなぎ資金	貸付中件数 2 件

令和2年3月25日に始まり、令和4年9月30日に受付が終了した特例貸付の貸付決定件数は4,697件（小口1,699件、総合＜初回＞1,454件、総合＜延長＞573件、総合＜再貸付＞971件）でした。

(3) 福祉資金の貸付（蕨市社協貸付制度）

蕨市に住民登録を有する低所得世帯で、臨時的出費又は収入欠如等の

ため生計を脅かされ又は、そのおそれのある場合に応急的需要を満たし生活の安定と自立の助長を図ることを目的として資金の貸付を行った。

① 福祉資金	6 件	267,000 円
② 法外援護（交通費）	7 件	2,100 円
③ 当年度貸付償還金	18 件（延べ）	152,600 円
④ 過年度貸付償還金	22 件（延べ）	210,000 円

(4) フードパントリー事業の実施

新型コロナウイルス感染症及び物価高騰の影響等により、生活に困窮している世帯を対象に食料品や生活用品の配布を実施した。

開催日	開催場所	利用世帯数	自立相談
令和4年6月30日	蕨市総合社会福祉センター	80世帯	7件
令和4年12月27日	蕨市総合社会福祉センター	97世帯	5件
令和5年2月28日	蕨市総合社会福祉センター	95世帯	4件

(5) 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業受付業務の受託

総合支援資金の再貸付を借り終わった、または、再貸付が不承認であったなどの理由で特例貸付を利用できず、生活に困窮している世帯に対して、自立支援金の支給を行うための受付業務を令和3年7月より実施している。なお、令和4年12月末日で本制度は終了した。

支給決定件数 445 件 （初回申請受付 354 件 再支給受付 91 件）

8 赤い羽根共同募金運動並びに配分金事業の実施

(1) 赤い羽根共同募金運動の実施

戸別募金では、新型コロナウイルス感染症に充分注意した募金運動の依頼を行ったほか、街頭募金では、呼びかけ音源を活用するなど各種募金活動において新型コロナウイルス感染症予防対策に努めながら実施した。

① 赤い羽根共同募金

目 標 額 7,146,000 円

実 績 額 5,790,777 円 (81.0%)

内 訳

種 別	募金額
戸別募金	4,580,690 円
学校募金	161,390 円
街頭募金	294,409 円
個人募金	154,990 円
法人募金	275,000 円
職域募金	324,298 円
合 計	5,790,777 円

※但し、寄付者が直接、埼玉県共同募金会へ納付する直納分を含めると 6,074,532 円 (85.0%)

② 地域歳末たすけあい募金

目 標 額 7,063,000 円

実 績 額 6,971,450 円 (98.7%)

内 訳

種 別	募金額
戸別募金	6,954,450 円
個人募金	17,000 円
合 計	6,971,450 円

(2) 共同募金運動の広報啓発

啓発用チラシ、報告用ポスターの配布、掲示

(3) 共同募金配分金事業の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、参加型の事業は中止となったものもあった。

その他、福祉団体・町会への助成や母子（父子）世帯等への歳末慰問金、おせち料理の宅配などは、感染予防対策に充分注意しながら実施した。

① 一般募金（赤い羽根共同募金）配分金事業

【実施した事業】

- ア 各福祉団体への助成（12団体）
- イ 小地域活動助成（町会への助成）
- ウ 地域福祉活動応援助成事業の実施（2団体）

【中止した事業】

- ア 彩の国ふれあいピック秋季大会への協力
- イ 蕨市高校生・中学生ワークキャンプ事業の実施

ウ 社協支部研修会補助

② 地域歳末たすけあい募金配分金事業

【実施した事業】

ア 母子（父子）世帯等在宅対象者への歳末慰問金贈呈

イ 単身高齢者等おせち料理の宅配

ウ 母子（父子）世帯中学校卒業祝金贈呈

エ 小地域活動助成（町会への助成）

オ 広報紙「わらび社協福祉だより」11月号、1月号の発行（前掲）

カ 社会福祉大会（表彰のみ）

キ フードパントリー事業の実施（前掲）

ク 在宅介護者食事利用助成の実施

【中止した事業】

ア 社協支部会食事業費助成

イ ふれあい広場

ウ 社会福祉大会（アトラクション）

（実施方法に変更が生じたため配分金からの支出はなかった。）

9 社協基盤確立と体制の強化

(1) 自主財源の確保

① 会費の確保（前掲）

② 松原会館敷地内に自動販売機の設置

(2) 組織体制の強化

① 社会福祉法人制度に基づく法人経営の整備

② 多様な生活支援サービスの提供に向けた組織連携体制の整備

③ 関係諸会議、研修会への参加

事務事業検討会、会議・研修会等に関係役職員が出席した。

(3) 災害ボランティアセンターの整備

災害ボランティアセンター立ち上げ訓練（職員向け）の実施

（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

10 特別事業

(1) 第 42 回蕨市社会福祉大会・第 30 回ふれあい広場の開催

新型コロナウイルス感染症の流行下で、「ふれあい広場、アトラクション、抽選会」は中止し、社会福祉事業功労者へ表彰状、感謝状を贈呈することで祝意をお伝えした。

① 開催日及び場所 令和 4 年 11 月 27 日 蕨市立中央公民館

受賞者 54 人（表彰状授与者 51 個人、感謝状授与者 1 個人 2 団体）

② 社会福祉大会、ふれあい広場検討会議の実施

社協事務局において検討委員会を設置し検討会議を実施した。

その結果、ふれあい広場と社会福祉センターまつりを統合し、令和 5 年度においては蕨市総合社会福祉センター及び老人福祉センター松原会館にて「わらび社協まつり」として社会福祉大会と同日に開催する計画となっている。

(2) 第 22 回社会福祉センターまつりの開催

（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

事業報告の附属明細書

社会福祉法施行規則第二条の二十五第三項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
会 長 下 村 純 久